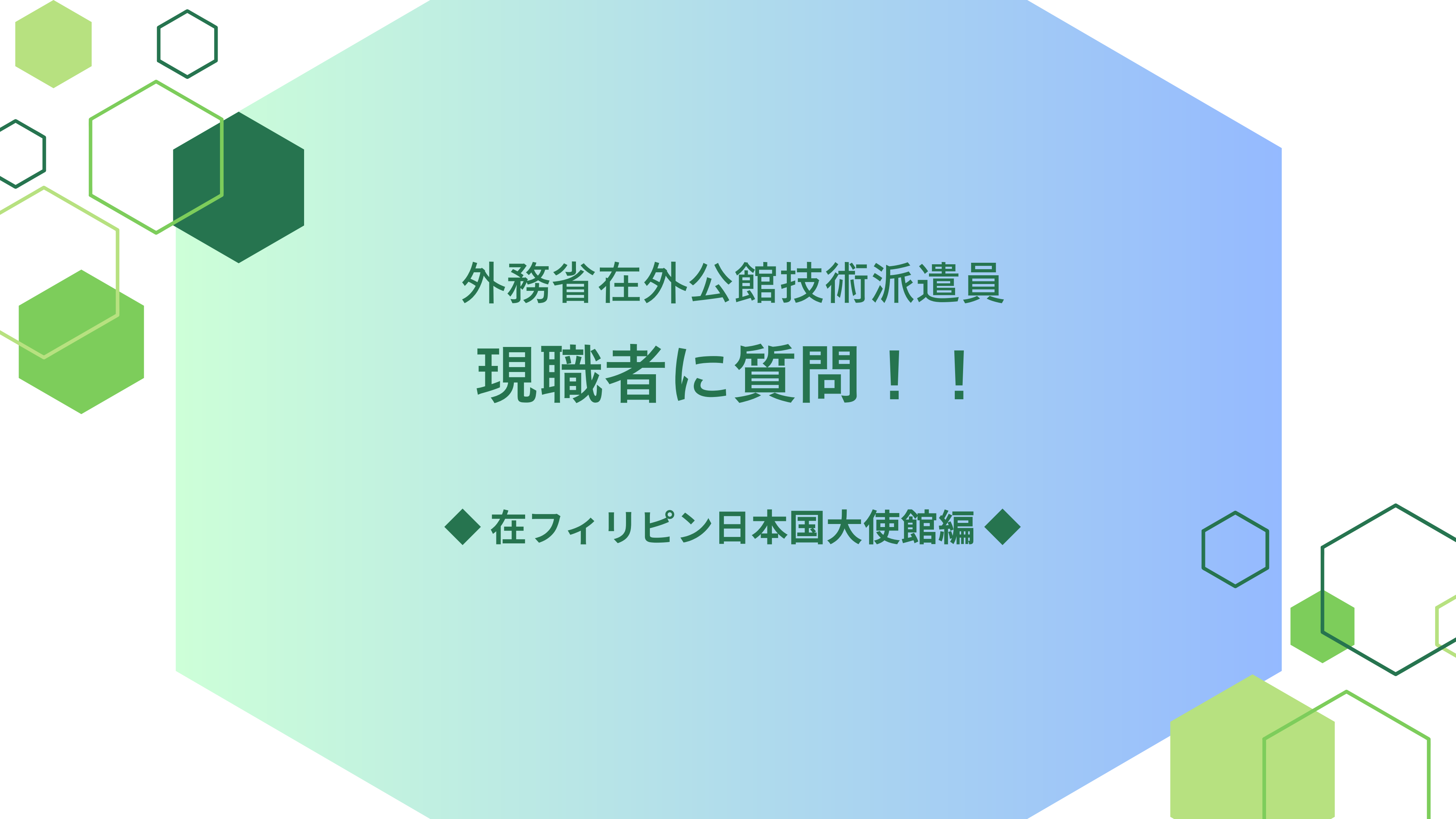




外務省在外公館技術派遣員 現職者に質問！！

◆ 在フィリピン日本国大使館編 ◆

Q1. 技術派遣員として赴任される前のご経歴を教えてください。

新卒で電力会社に入社し、建築部門において社有オフィスや変電所に関わる業務に数年間従事していました。建物の新築や修繕工事において、基本計画の立案、積算、工事監理、保守業務など幅広い業務を担当しました。電気設備・機械設備・建築といった各分野に特化した案件を経験する機会が多く、日々学ぶことが多い点に大きなやりがいを感じていました。

Q2. 技術派遣員に応募された理由を教えてください。

学生時代は工学部で学ぶ一方、語学留学の経験もあり、海外で語学力と専門性の両方を活かせる仕事に就きたいと考えていました。新卒時の就職活動では海外勤務を希望していたものの、当時はコロナ禍で海外求人が少なく、まずは建築技術者として成長できる国内企業へ入社しました。前職では、24時間インフラを支える重要な建物の管理に携わっており、現在の大使馆建物を担う技術派遣員の業務にも通じる部分があると感じています。



在フィリピン日本国大使館勤務（20代、女性）

Q3. 実際の業務内容はどのようなものですか？

大使館及び大使公邸の保守・維持管理が主な業務です。いずれも築数十年が経過しており、空調設備をはじめ、建具の不具合や屋上からの漏水など、さまざまなリスクを抱えています。館員の業務に支障が出ないよう、日ごろから建物の状態を細かく確認するよう心掛けています。

また、これと並行して、在フィリピン大使館では増築・大規模改修工事を実施しています。私は増築棟の工事監理や、それに伴う館内の引っ越し調整、新規家具の発注なども担当しています。

Q4. 実際に勤務して感じる技術派遣員の魅力とはどのような点でしょうか？

技術派遣員は、現地職員や現地企業との協働に加え、本省や館内の日本人職員とのやり取りも多く、半分日本にいるような安心感があり、初めての海外勤務として最適な環境だと感じています。

また、建物要件の特殊性や、国際的な環境の中で日本の品質基準を維持するという点も、この仕事ならではの面白さだと思いました。

さらに、時期によって忙しさに差はありますが、残業が少なく休暇も取得しやすいため、2年間という限られた期間の中でも、赴任先での生活を充実させられる点も大きな魅力だと感じています。

